

# WR530 取扱説明書

Ver.1.0\_507061

## ご使用上の注意

使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています

### △警告

警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

- 取付けの安全上、お客様ご自身の取付作業に関するご質問、情報開示、サポート等に関しては一切お答えできませんのでご理解ください。
- メインユニットハーネスと車種別専用ハーネスに必ず市販の絶縁テープを巻いて保護してください。各種ハーネスと車両金属部が接触してショートし、メインユニットの故障、車両ヒューズ切れなどの本体の動作不良になる恐れがあります。また絶縁テープを巻いた各種ハーネスをダッシュボード内(コラムカバー内等)へ収納する際、狭いスペースのため、各種ハーネスと車両金属部が接触してショートしないようしっかりと固定し十分に気をつけて取付けを行なってください。車両金属部の接触によるショートが原因の本体動作不良または車両や車載品の故障、事故などの付随的損害については弊社では一切責任を負いません。
- 排気ガス中毒の危険性があるため、換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。
- ボティカバーを掛けたままの使用はしないでください。
- 火災の危険性があるため、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。
- 暴走事故を防止するため、キーをOFFにする時はATシフトレバーを(Pパーキング)に入れ、パーキングブレーキを確実にかけてください。特に、日産 AT車で Be-2500(キーロックリレーアダプター)を装着した車は、(Pパーキング) 以外でもキーを抜くことができるため、必ず操作方法を守ってください。
- アイドルリングの直後や本製品作動中にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を十分に冷ましてから行なってください。
- お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
- リモコンはお子様手の届かない場所に大切に保管してください。
- マニュアルミッション車には本製品を取付けしないでください。事故となる危険性があります。
- 一部の車両で本製品をつけることによりエンジンを停止する時にシフトレバーがP(パーキング)、N(ニュートラル) 位置以外でキーがOFFまで回りキーが抜けてしまい、車両が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプション Be-963(カーテシ線・Pポジション線兼用) または Be-973(シフト検出アダプター) 等が必要になる場合があります。また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーがP(パーキング) の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。
- 車種別専用ハーネスから他の電装品の電源やACC電源を取らないでください。メインユニットの故障および動作不良の原因となります。
- バッテリー端子の取付け取外しをする際は、工具を使ってしっかりと締め付けて固定してください。不適切な取付けを行うと車両火災の原因になります。

<p>本製品取付け後にエンジン始動および停止した時、メインユニットからブザー音が鳴ることがありますが、異常ではありません。</p>
---

### ■電波法について

- メインユニットやリモコンケース裏面の技術基準適合証明ラベルは剥がさないでください。このラベルを剥がすと技術基準適合機として認められなくなるので、必ずラベルが貼られた状態で使用してください。
- 紛解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用すると電波法により罰せられることがあります。

### ■バッテリーについて

車のバッテリーの性能が低下している時は、キーで始動する場合に比べ、リモコンでのエンジン始動ができにくくなります。このような時はバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

- ・寒冷地ではL端子配線の接続をおすすめします。
- ・車のバッテリー交換を行なった場合は再度初期設定および動作確認(取付説明書参照) を必ず行なってください。
- ・車のバッテリー性能・電圧が低下している時は、キーではエンジンが始動できるがリモコンでのエンジン始動ができない場合があります。気候やバッテリー状態によって異なりますので十分にご注意ください。本体の不良ではありません。

### ■電波特性(電波飛距離について)

- ・鉄筋コンクリートの壁や、トタンなど電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると電波が障害物によって反射吸収されるので、極端に到達距離が短くなります。
- ・電波は直進しませんが、ただし反射しながら飛び場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。
- ・リモコンを操作する時は、電波送受信の安定性を確保するために、下記のように操作してください。
- ・アンテナ部に触れた状態で操作すると、著しく通信距離を短めしますのでご注意ください。
- アンテナを伸ばさずに操作すると電波の送受信距離が短くなります。
- ケースやアンテナを、手で包み込まないよう操作してください。
- リモコンは垂直に立てて操作してください。

### ■スリープ機能について

- ・車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。
- ・スリープ機能が働くと、本製品によるエンジン始動はできません。
- ・スリープ機能を解除する時は、1度キーでエンジンを始動させてください。

### 電池交換のしかた

電池は下図の手順にしたがって、＋／－の向きを間違えないように交換してください。

<div> <div><b>△注意</b></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・電池カバーを取付けていないとリモコンの電源は入りません。</li> <li>・指定電池(CR2025) 以外は使用しないでください。</li> <li>・電池カバーを外す時に、ケースやカバーに傷をつけないよう十分注意してください。</li> <li>・無理に電池を外すとツメが折れてしまう場合があります。</li> <li>・必ず新しい電池2個と交換してください。新しい電池と古い電池を同時に使用すると液漏れの原因になります。</li></ul></div>
--

- プラスドライバーでネジを取外し、電池カバーを矢印の方向へスライドさせ取外します。
- 右図の溝に細い棒などを入れ、古い電池を取出します。

新しい電池(CR2025×2個)を、電池の極性＋／－に注意して挿入します。

新しい電池2個と交換します。

- ・電池寿命の目安は、新品の電池で1日2回の操作で約半年間です。(使用する条件によって異なります。)
- ・工場出荷時はテスト用の電池をセットしていますので電池自体が自然放電して電池寿命が約半年間を下回る場合があります。
- ・本製品はリモコン操作を行なった際に電池が消耗している場合、液晶表示を行いお知らせします。
- ・本製品を長期間使用しない時は、リモコンの電池を抜くことをおすすめします。

### リモコン操作方法一覧

リモコンで下記の動作を行うとエンジン始動できます。エンジン始動後、設定したアイドルリング時間が過ぎると自動的にエンジンを停止します。

### △注意

- ・リモコンを操作する時はアンテナを伸ばしてください。伸ばさないと著しく電波飛距離が短くなります。
- ・電池を交換した時は必ず下記操作を行ってリモコンの液晶表示がされるか確認してください。
- ・リモコンでエンジンを始動する時に、車両のオートライト機能を[AUTO] にしている場合、エンジン始動と同時にヘッドライトが点灯したままになることがあります。車両のオートライト機能を「OFF」、またはオプション Be-964オートライト線を接続してからリモコンでエンジン始動を行なってください。
- ・車から発生するノイズの影響でエンジン始動より、エンジン停止させる方が通信距離が短くなる事があります。
- ・同じ周波数帯の電波が周辺に出ている場合は、リモコンの受信音が「ブツブツ」と鳴り送信を行えません。

NO	動作	スイッチ操作	液晶表示
1	エンジンスタート	ENGINE → START	<span>〔SET〕</span> → <span>〔ENG〕</span> ▷ <span>〔START〕</span>
2	エンジンストップ	ENGINE → STOP	<span>〔SET〕</span> → <span>〔ENG〕</span> ▷ <span>〔STOP〕</span>
3	車両ドアロック	START → START または START 2秒長押し	<span>〔SET〕</span> → <span>〔DOOR〕</span> ▷ <span>〔LOCK〕</span> <span>〔DOOR〕</span> ▷ <span>〔LOCK〕</span>
4	車両ドアアンロック	STOP → STOP または STOP 2秒長押し	<span>〔SET〕</span> → <span>〔DOOR〕</span> ▷ <span>〔UNLOCK〕</span> <span>〔DOOR〕</span> ▷ <span>〔UNLOCK〕</span>
5	アイドルリング時間を延長する	エンジン始動中に ENGINE→ START	<span>〔SET〕</span> → <span>〔ENG〕</span> ▷ <span>〔START〕</span>
6	エンジン始動状態およびアイドルリング残時間を確認する	エンジン始動中に ENGINE 2秒長押し	例)アイドルリング残時間が20分の場合 <span>〔INFO〕</span> ▷ <span>〔20/2〕</span>
7	スライドドアを開ける／閉める	<span>〔タイプ1〕</span> (OP) スライドドアを開める <span>〔タイプ2〕</span> <span>〔タイプ3〕</span> (OP)	<span>〔SET〕</span> → <span>〔SLIDE〕</span> ▷ <span>〔DOOR〕</span>
8	スライドドアを開ける	<span>〔タイプ2〕</span> <span>〔タイプ3〕</span> (OP)	<span>〔SET〕</span> → <span>〔SLIDE〕</span> ▷ <span>〔DOOR〕</span>

(OP) はオプション接続時 →は液晶表示中(2秒以内) に次のスイッチ動作を行ってください。

### エンジン始動から乗車、運転開始まで

- 1) 【ENGINE】 スイッチを押し、液晶表示部に「SET」を表示させます。
- 2) 「SET」が表示中に【START】 スイッチを押すと、アンサーバックランプ(青) が点滅し、液晶表示部に「ENG」⇒「START」と表示され、送信アニメーションが表示されます。
- 3) メインユニットがリモコンからの電波を受信すると、下記のような動作をし、エンジンが始動します。
  - ・メインユニットからブザー音が「ピーッ」と1秒間鳴ります。
  - ・リモコンのアンサーバックランプ(青) がゆっくり点滅し、液晶表示部に「OK」と表示されます。
  - ※メインユニットがリモコンからの電波を受信できなかった場合は、リモコンのアンサーバックランプ(青) は点滅しません。(アンサーバック音をメロディ、またはブザーに選択されている場合はNG音が鳴ります)
- 4) エンジンが始動すると、メインユニットがリモコンへエンジン始動の確認電波(アンサーバック信号) を送ります。※1
  - リモコンが電波(アンサーバック信号) を受信すると、リモコンのアンサーバックランプ(青) が点灯します。※2

エンジン始動しなかった場合でもリモコンからアンサーバック NG音は鳴りません。

- ※1 リトライでエンジンを始動した時は、リモコンへの電波(アンサーバック信号) は送信されません。その場合は、「リモコン操作方法一覧 No8」でご確認ください。
- ※2 一部車両でエンジン始動時の電気ノイズや場所によっては、周囲の電波の影響を受けて、アンサーバックランプ(青) が点灯(アンサーバック) しないことがあります。

## 製品仕様

- リモコン
  - 技術基準:RCR標準規格テレコンロール用無線設備適合○送信周波数:429MHz帯2チャンネル任意切替式○識別コード:1000万種○送信出力:10mW○電波形式:F1D○呼出名称:送信時に自動送出○周波数安定度:±4ppm以内○周波数偏位:±2.5KHz以内○送信時間:3秒以内○送信休止時間:2秒以上○受信周波数:429MHz帯2チャンネル任意切替式○受信感度:−116dBm(25℃)で安定動作○発受信安定度:±4ppm以内○送受信アンテナ:ロッドアンテナ○動作温度範囲:−10℃～+60℃○使用電池:リチウム電池CR2025×2○ケース寸法:33.9(W)×66.1(H)×16.1(D)/mm(アンテナ部、突起部除く)○重量:31.0g(電池含む)
- メインユニット
  - 技術基準:RCR標準規格テレコンロール用無線設備適合○送信周波数:429MHz帯2チャンネル任意切替式○送信出力:10mW○電波形式:F1D○呼出名称:送信時に自動送出○周波数安定度:±4ppm以内○周波数偏位:±2.5KHz以内○送信時間:3秒以内○送信休止時間:2秒以内○受信周波数:429MHz帯2チャンネル任意切替式○受信感度:−116dBm(25℃)で安定動作○送受信アンテナ:ヘリカルアンテナ○動作温度範囲:−20℃～+70℃○電源電圧:12V車専用(DC8V～16V)○待機電流:平均7mA以下○リレー容量:30A(IG1)20A(IG2)・ACC-ST1-ST2○寸法:73(W)×115(H)×32.5(D)mm(突起部除く)○重量:275g(コード含む)

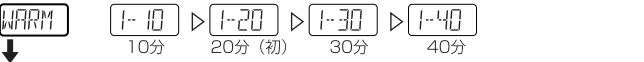

各種設定を変更する	設定モード内で下記の設定を、リモコン操作で変更することができます。
<p>①アイドリング時間　②ターボタイマー　③セルストップ方式　④セル延長時間　⑤セルストップ時間</p> <p>⑥グロー時間　⑦オートロック　⑧カーテシ検出　⑨スイッチモード　⑩ディスプレイモード</p>	
<p>○設定操作を行う際は必ず、車内など確実にリモコンとメインユニットが送受信できる状態で操作を行なってください。</p> <p>○設定モード開始から30秒間リモコンで操作を行わないと、リモコンに『TM.0』とエラー表示され、ブザー音が「プー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容は全て無効になります。</p> <p>○設定登録の操作を行わないと、変更した設定内容は全て無効になります。</p>	

設定開始
<p>エンジンを停止し、キーを抜いた状態でリモコンの【ENGINE】スイッチと【START】スイッチを同時に5秒間長押しすると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。</p>

オールリセット(初期化) する
<p>設定モード状態で『TM.0』とエラー表示される前にリモコンの【ENGINE】スイッチと【START】スイッチと【STOP】スイッチを同時に5秒間長押しすると、メインユニットからブザー音が「プープー」と鳴り、全ての機能が初期設定になります。※リモコンの【ENGINE】と【STOP】スイッチで設定登録作業を行う必要はありません。</p>

設定内容一覧
--------


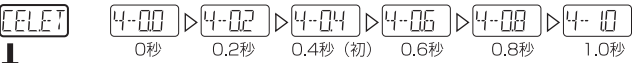
【START】スイッチ1回押しで ➡ 方向に表示を変更して<項目>を変更
【STOP】スイッチ1回押しで ▶ 方向に移動して<設定>を選択



①アイドリング時間
 <p>10分　20分(初)　30分　40分</p>
②ターボタイマー
 <p>OFF(初)　30秒　1分　3分</p>

- エンジンを始動してから15秒以上経過し、キーをOFFにした場合にターボタイマーが作動します。

- △ 注意**
  - 本製品をスズキブッシュスタートシステム車へ取付ける場合、ターボタイマー機能は使用しないでください。車両故障の原因となります。
  - 一部の車両で本製品をつけると、ターボタイマー使用時にシフトレバーがP(パーキング)、N(ニュートラル)位置以外でキーがOFFまで回りキーが抜けてしまい、車両が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプションのBe-963カーテシ線・Pポジション線兼用またはBe-973シフト検出アダプター等が必要になる場合があります。また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーがP(パーキング)の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。
  - ターボタイマー作動時に、車両のオートライト機能を【AUTO】にしている場合、ターボタイマー作動中はヘッドライトが点灯したままになることがあります。車両のオートライト機能を【OFF】、またはオプションBe-964オートライト線を接続してから、ターボタイマーを作動させてください。

- ターボタイマー作動中に下記のいずれかの動作を行うとエンジンが停止します。
  - フットブレーキ配線を行なっている場合、フットブレーキを踏みます。
  - リモコンの【ENGINE】スイッチを押して液晶表示部に【SET】が表示されている間に【STOP】スイッチを押します。
  - キーをACCの位置で約3秒以上待ちます。

③セルストップ方式
 <p>オート(初)　マニュアル</p>
④セル延長時間
<p>※セルストップ方式③がオート設定時のみ有効</p>  <p>0秒　0,2秒　0,4秒(初)　0,6秒　0,8秒　1,0秒</p>

⑤セルストップ時間
<p>※セルストップ方式③がマニュアル設定時のみ有効</p> <p>セルスターのひきずりがある場合やエンジン始動しにくい場合に設定を変更します。</p>  <p>0,7秒　1,0秒(初)　1,3秒　1,5秒　2,0秒　2,5秒</p>
⑥へ続く
 <p>3,0秒</p>

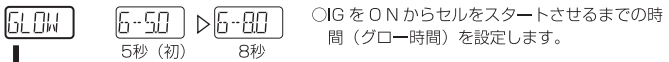
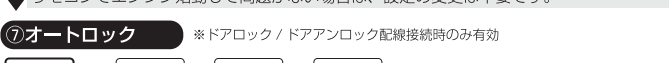
③④⑤セル時間の設定について
<p>セルストップ方式の設定をオートまたはマニュアルにし、オートはセル延長時間、マニュアルはセルストップ時間を設定することで、エンジンの始動しやすい車両状態に設定できます。</p> <p><b>△ 注意</b></p> <p>設定③④⑤を間違った設定にすると、セルモーターの故障につながる恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li><b>●こんなときに設定を変更してください。</b> <ul style="list-style-type: none"><li>エンジンスタートするがセルをひきずる場合</li></ul></li></ul> <p>セルストップ方式がオートの場合は延長時間を現状の設定より短めに設定し、それでもひきずる場合はセルストップ方式をマニュアルに設定して、セルストップ時間を現状の設定より短めに設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>エンジンのかかりが悪くリトライをする場合</li></ul> <p>セルストップ方式がオートの場合はセル延長時間を現状の設定より長めに設定し、それでもセルが短い場合はセルストップ方式をマニュアルに設定して、セルストップ時間を現状の設定より長めに設定してください。</p>


リモコンの ID コードを再登録する
<p>以下の場合に IDコードを再登録してください。</p> <p>1.リモコンを紛失または破損した場合、新しいリモコン(別売)を購入していただき、IDコード)をメインユニットに再登録することで引き続きご使用いただけます。</p> <p>2.取付けた時や車両バッテリーを交換・取外した場合、リモコンのIDコードの再登録を行う前に、必ず&lt;初期設定および動作確認&gt;(取付説明書)を行なってください。(初期設定および動作確認)を行わないと本製品でエンジン始動できません。それでもリモコン操作できない場合はIDコードの再登録を行なってください。</p>
■再登録方法
<p>1) キーをOFFの位置からONの位置まで回して止めてください。10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。</p> <p>2) 1)のブザーが鳴ってから5秒以内に、キーをOFFの位置へ回してください。</p> <p>3) キーをOFFの位置へ回してから5秒以内に、再度ONの位置まで回して止めてください。10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。</p> <p>4) 3)のブザーが鳴ってから5秒以内にキーを再度OFFの位置へ回してください。メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と10秒間鳴ります。</p> <p>5) 4)のブザーが10秒間鳴っている間に、リモコンの【START】スイッチを押して【SET】が表示している間に、【STOP】スイッチを押してください。リモコンに【ID1】と表示され、メインユニットからブザー音が「ピッ」と鳴り、再登録は完了します。</p> <p>※指定した時間を経過した場合、または順番を間違えた場合はキーでエンジン始動後、初めからやり直してください。</p> <p>IDコードとは・・</p> <p>リモコンにはそれぞれ重複しないように「IDコード」が設定されておりメインユニットの「IDコード」と一致しなければ、エンジンを始動させる事ができないようになっています。</p> <p>必ずリモコン、メインユニットが全て同一モデルになっていないとIDコードの登録はできません。</p>
設定登録(設定完了)


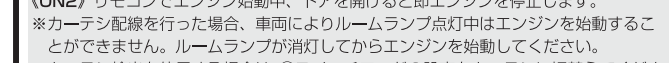
すべての設定が完了したら、『TM.0』とエラー表示される前にリモコンの【ENGINE】スイッチと【STOP】スイッチを同時に5秒間長押しすると、リモコンからブザー音が「ピー」と鳴り、メインユニットからブザー音が「ピーピー」と鳴り、設定が登録されます。
※設定の最後に必ず設定登録を行わないと設定されません。

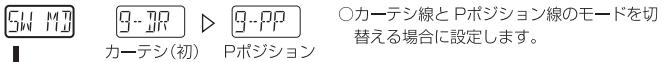
設定開始
<p>エンジンを停止し、キーを抜いた状態でリモコンの【ENGINE】スイッチと【START】スイッチと【STOP】スイッチを同時に5秒間長押しすると、メインユニットからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。</p>


※<設定>は押し続けると初めに戻ります。
※(初)は初期設定
※<設定登録>するまで続けて設定ができます。

⑥グロー時間
 <p>OIGをONからセルをスタートさせるまでの時間(グロー時間)を設定します。</p> <p>5秒(初)　8秒</p> <p>ガソリン車は5秒に設定します。ディーゼル車の一部車両は8秒に設定します。リモコンでエンジン始動して問題がない場合は、設定の変更は不要です。</p>
⑦オートロック
<p>※ドアロック / ドアアンロック配線接続時のみ有効</p>  <p>OFF(初)　ON1　ON2</p> <p>《ON1》リモコンでドアアンロック後、約30秒以内にキーをONにするかドアを開けると、オートロックが解除します。(カーテシ配線が必要)</p> <p>《ON2》リモコンでドアアンロック後、約30秒以内にキーをONにすると、オートロックが解除します。(ドアを開けても、オートロックは解除されません)</p>

⑧カーテシ検出
<p>※カーテシ線接続時のみ有効</p>  <p>OFF(初)　ON1　ON2</p> <p>《ON1》リモコンでドアアンロック後、約30秒以内にキーをONにするかドアを開けると、オートロックが解除します。(カーテシ配線が必要)</p> <p>《ON2》リモコンでドアアンロック後、約30秒以内にキーをONにすると、オートロックが解除します。(ドアを開けても、オートロックは解除されません)</p>

⑨スイッチモード
<p>○カーテシ線とPポジション線のモードを切替える場合に設定します。</p>  <p>設定OFF　ON1(初)　ON2</p> <p>《ON1》リモコンでエンジン始動中、ドアを開けると約15秒後にエンジンを停止します。</p> <p>《ON2》リモコンでエンジン始動中、ドアを開けると即エンジンを停止します。</p> <p>※カーテシ配線を行った場合、車両によりルームランプ点灯中はエンジンを始動することができません。ルームランプが消灯してからエンジンを始動してください。</p> <p>※カーテシ検出を使用する場合は、⑨スイッチモードの設定をカーテシに切替えてください。</p>
⑩ディスプレイモード
<p>※通常は無効に設定してください。</p> <p>一部車両(弊社ホームページの車種別接続図を参照)や販売店で本製品をディスプレイとして展示する場合に設定します。</p>  <p>有効　無効(初)</p>

⑨スイッチモード
<p>○カーテシ線とPポジション線のモードを切替える場合に設定します。</p>  <p>カーテシ(初)　Pポジション</p> <p>《カーテシ》カーテシ線を接続する場合に使用します。</p> <p>《Pポジション》Pポジション線を接続する場合に使用します。</p> <p>※カーテシとPポジションを同時に使用することはできません。</p>

⑩ディスプレイモード
<p>※通常は無効に設定してください。</p> <p>一部車両(弊社ホームページの車種別接続図を参照)や販売店で本製品をディスプレイとして展示する場合に設定します。</p>  <p>有効　無効(初)</p>

リモコンの音色と音量を切替える
-----------------

リモコンの音色を、メロディ1/メロディ2/ブザー/無音の中から選択することができます。また音量を3段階から選択できます。(初期設定は、メロディ1/音量3)

- 【START】スイッチと、【STOP】スイッチを同時に5秒長押しします。液晶表示部に現在の設定が表示されます。
- 【START】スイッチを押すと音色が変更され、【STOP】スイッチを押すと音量が変更されます。

音色	
音量	

- 再度【START】スイッチと、【STOP】スイッチを同時に5秒長押しし、設定を登録します。※設定の最後に必ず設定登録を行わないと設定されません。
※設定モード開始から30秒間リモコンで操作を行わないと、リモコンに『TM.0』と表示されブザー音が「プー」と鳴って設定モードが終了します。

リモコンの ID コードを再登録する
<p>以下の場合に IDコードを再登録してください。</p> <p>1.リモコンを紛失または破損した場合、新しいリモコン(別売)を購入していただき、IDコード)をメインユニットに再登録することで引き続きご使用いただけます。</p> <p>2.取付けた時や車両バッテリーを交換・取外した場合、リモコンのIDコードの再登録を行う前に、必ず&lt;初期設定および動作確認&gt;(取付説明書)を行なってください。(初期設定および動作確認)を行わないと本製品でエンジン始動できません。それでもリモコン操作できない場合はIDコードの再登録を行なってください。</p>
■再登録方法
<p>1) キーをOFFの位置からONの位置まで回して止めてください。10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。</p> <p>2) 1)のブザーが鳴ってから5秒以内に、キーをOFFの位置へ回してください。</p> <p>3) キーをOFFの位置へ回してから5秒以内に、再度ONの位置まで回して止めてください。10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。</p> <p>4) 3)のブザーが鳴ってから5秒以内にキーを再度OFFの位置へ回してください。メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と10秒間鳴ります。</p> <p>5) 4)のブザーが10秒間鳴っている間に、リモコンの【START】スイッチを押して【SET】が表示している間に、【STOP】スイッチを押してください。リモコンに【ID1】と表示され、メインユニットからブザー音が「ピッ」と鳴り、再登録は完了します。</p> <p>※指定した時間を経過した場合、または順番を間違えた場合はキーでエンジン始動後、初めからやり直してください。</p> <p>IDコードとは・・</p> <p>リモコンにはそれぞれ重複しないように「IDコード」が設定されておりメインユニットの「IDコード」と一致しなければ、エンジンを始動させる事ができないようになっています。</p> <p>必ずリモコン、メインユニットが全て同一モデルになっていないとIDコードの登録はできません。</p>
通信周波数切替方法について

通信周波数切替方法は、通常は通信周波数を変更する必要はありません

通信周波数切替方法は、通常は通信周波数を変更する必要はありません

通信周波数切替方法は、通常は通信周波数を変更する必要はありません

通信周波数切替方法について
<p>通常は通信周波数を変更する必要はありません</p>

通信周波数切替方法は、通常は通信周波数を変更する必要はありません

通信周波数切替方法は、通常は通信周波数を変更する必要はありません

■通信周波数をチャンネル1 からチャンネル2へ変更する(チャンネル2からチャンネル1の変更も同様)
<p>1) エンジンを停止し、キーを抜いた状態でリモコンの【ENGINE】スイッチと【START】スイッチを同時に5秒間長押しすると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。</p>

△ 注意
・設定モード開始から30秒間リモコンで操作を行わないと、リモコンに『TM.0』とエラー表示され、ブザー音が「プー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容は全て無効になります。
・設定登録の操作を行わないと、変更した設定内容は全て無効になります。

- 【START】スイッチと【STOP】スイッチを同時に5秒間長押しすると、周波数切替えモードに入り、液晶表示部に現在の設定が表示されます。
- 【STOP】スイッチを1度押し、チャンネル2【CH2】に切替えます。
- リモコンの【ENGINE】スイッチと【STOP】スイッチを同時に5秒間長押しすると、メインユニットからブザー音が「ピーピー」と鳴り、設定が登録されます。
  - ※設定の最後に必ず設定登録を行わないと設定されません。
- この時、リモコンとメインユニットが通信できない場合は[リモコンとメインユニットが通信できない場合]へ
- リモコンの液晶表示部に【OK】と表示され、アンサーバックOK音が返ってくれば設定完了です。この時リモコンへのアンサーバックがNGの場合は[アンサーバックがNGの場合]へ

アンサーバックがNGの場合
<p>リモコンへのアンサーバックがNG音となり、メインユニットのみチャンネル2へ変更され、リモコン側はチャンネル1のまま変更されていないときは、リモコンのみ周波数切替を行う必要があります。 ※通信周波数切替方法の設定で設定登録後リモコンへのアンサーバックがNGになってしまった場合にリモコン単体のみ周波数切替を行います。</p>

△ 注意
・メインユニット側がチャンネル2、リモコン側がチャンネル1と相違しているためリモコンとメインユニットとの通信が一瞬の操作が行えません。
・必ずリモコンとメインユニット側のチャンネルを合わせてください。

- エンジンを停止し、キーを抜いた状態でリモコンの【ENGINE】スイッチと【START】スイッチを同時に5秒間長押しすると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。

△ 注意
・設定モード開始から30秒間リモコンで操作を行わないと、リモコンに『TM.0』とエラー表示され、ブザー音が「プー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容は全て無効になります。
・設定登録の操作を行わないと、変更した設定内容は全て無効になります。

- 【START】スイッチと【STOP】スイッチを同時に5秒間長押しすると、周波数切替えモードに入り、液晶表示部に現在の設定が表示されます。
- 【STOP】スイッチを1度押し、チャンネル2【CH2】に切替えます。
- リモコンの【START】スイッチと【STOP】スイッチを同時に10秒間長押しすると、リモコンからブザー音が「ピッピッ」と鳴り液晶表示が消え、リモコン単体の設定が「チャンネル2」に変更されます。
  - ※設定の最後に必ず設定登録を行わないと設定されません。
- リモコンとメインユニットが両方とも「チャンネル2」同士となり、通信が可能になれば設定完了です。

リモコンとメインユニットが通信できない場合
<p>・周囲の電波状況等によりリモコンとメインユニットの間で通信ができず、メインユニットから「ピーピー」と鳴らないときは、車両を移動する等、通信が行える場所へ移動し再度設定を行なってください。[通信周波数をチャンネル1からチャンネル2へ変更する]を参照し、設定を行なってください。</p> <p>・リモコンのみチャンネルが変わっていることが考えられます。リモコン単体の通信周波数切替方法によりリモコンとメインユニットのチャンネルを同一にする必要があります。[アンサーバックがNGの場合]を参照し、変更を行なってください。</p>

リモコンの ID コードを追加登録する
<p>IDコードを追加登録することで付属のリモコン以外に、もう1つ本製品のリモコンを追加して使用することができます。(付属のリモコンを含め合計2個まで) 弊社製カーセキュリティのリモコンを追加登録して使用することはできません。</p> <p>1) キーをOFFの位置からONの位置まで回して止めてください。10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。</p> <p>2) 1)のブザーが鳴ってから5秒以内に、キーをOFFの位置へ回してください。</p> <p>3) キーをOFFの位置へ回してから5秒以内に、再度ONの位置まで回して止めてください。10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。</p> <p>4) 3)のブザーが鳴ってから5秒以内にキーを再度OFFの位置へ回してください。メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と10秒間鳴ります。</p> <p>5) 4)のブザーが10秒間鳴っている間に、リモコンの【ENGINE】スイッチを押して【SET】が表示している間に、もう一度【ENGINE】スイッチを押してください。リモコンに【ID2】と表示され、メインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴り、追加登録は完了します。</p> <p>※指定した時間を経過した場合や順番を間違えた場合はキーでエンジン始動後、初めからやり直してください。</p>
故障かな?と思ったら

Q リモコンでエンジンが始動しない。※本体の電源が入らない。
【確認】車種別専用ハーネスは確実に接続されていますか?
<対処>ハーネスのすべてのコネクタを確実に接続してください。
【確認】リモコンの電池が消耗していませんか?
<対処>電池を2枚とも新しいものに交換してください。
【確認】メインユニットのヒューズ(30A)が切れていませんか?
<対処>車種別専用ハーネス等配線のショートが考えられます。配線を再確認後、市販のヒューズ(30A)交換をしてください。

Q リモコンでエンジンが始動しない。※本体の電源は入る。
【確認1】車両側のイグニッション電源は作動しますか?セルモーターは作動しますか?
【確認2】初期設定および動作確認は全て終了し、ブザー音の確認もできましたか?
<対処>初期設定および動作確認を行ない、IDコードを再登録を行なってください。初期設定を行わないと本製品は動作しません。

【確認】動作不良エラーのブザー音が鳴りますか?
<対処>動作不良エラー確認表を参照し、初期設定および動作確認を行なってください。
【確認】イモビライザー装着車ですか?
<対処>イモビ対応アダプター適合可能な場合は、イモビ対応アダプターを取付けてください。
【確認】アース端子は確実に接続されていますか?
<対処>アース端子が確実にアースポイントに、接続されているかを確認してください。

Q リモコンでドアロック / ドアアンロックができない。
【確認】運転席側のシートベルト警告コネクタが外れていませんか?
<対処>シートベルト警告コネクタが外れている場合は確実に確実に接続してください。

Q リモコンの操作スイッチを押しても液晶が表示されない。
【確認】電池が消耗していませんか?
<対処>電池を2枚とも新しいものに交換してください。

Q 使用中にメインユニットから接続確認メロディ(ドレミファンラジド)が鳴る。
【確認】アース端子は確実に接続されていますか?
<対処>アース端子を別の場所へ取直してください。

Q 動作が不安定
<対処>アース端子を別の場所へ取直してください。



# WR530 取付説明書

Ver.1.0\_507061

取付けには専門知識が必要です。取付けはお買い上げの販売店またはカーディーラー等にご依頼ください。お客様で自身で取付けられた場合は、保証が受けられません。

■取付けに必要な工具等  
 ・サーキットテスター・ドライバー(+)・ニッパー・絶縁テープ・プライヤー・スパナまたはボックスレンチ・保護テープ  
 ※その他の工具が必要になる場合があります。

## 取付け手順における注意点

取付け手順通りに接続を行わないとメインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴らない場合があります。初期設定および動作確認を行うことができません。必ず取付け手順に従って取付けを行ってください。

**1** シフトレバーをP(パーキング)にして、パーキングブレーキ(サイドブレーキ)を確実にかけ、キーを抜きます。

**2** 車両のバッテリー⊖(マイナス端子)を外します。

△注意  
 ・バッテリーを外すとオーディオ・ナビゲーション・時計などがリセットされます。  
 ・ナビゲーションにパスワードが設定されている場合はパスワードを解除してからバッテリーを外してください。解除しないとバッテリーを接続した時にパスワードを入力する必要がありパスワードがわからないとナビゲーションが使用できなくなります。

**3** 車のキーシリンダーから出ているコネクタを探します。

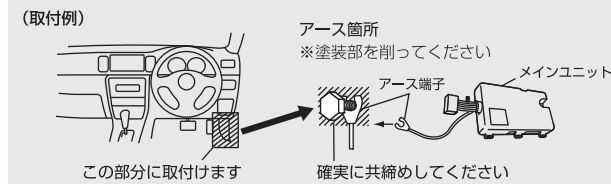


コネクタの場所は車種によって異なります。(ほとんどの車が下記のいずれかにあてはまります) 車種によってはコネクタが2ヶ所存在する場合もあります。

- ① キーシリンダー直付けタイプ
- ② キーシリンダーから10cm~20cmの場所にあるタイプ
- ③ ヒューズボックス、またはヒューズボックス付近にあるタイプ

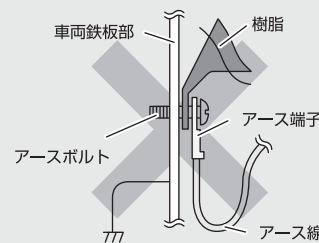
**4** アース端子を取付けます。

アース端子(黒/白コード)、塗装されていないボディまたは塗装部を削ったボディ、フレームのビスへ確実に共締めしてください。  
 ※塗装されたボディに取付けると、アースが不安定になり動作不良の原因となります。アースは正しく取付けてください。



△注意  
 ・アースボルトとアース端子の間に樹脂などを挟んでいる(右図)と初期設定および動作確認が行えないため、車両鉄板部に確実に共締めしてください。  
 ・取付け手順通りに接続を行わないとメインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴らない場合があります。初期設定および動作確認を行なうことができません。  
 必ず取付け手順に従って取付けを行ってください。  
 ・オーディオやナビゲーションなど、他の電装品と同じボルトにアースを取付けしないでください。  
 本製品の動作不良やオーディオのメモリーが消失したりします。

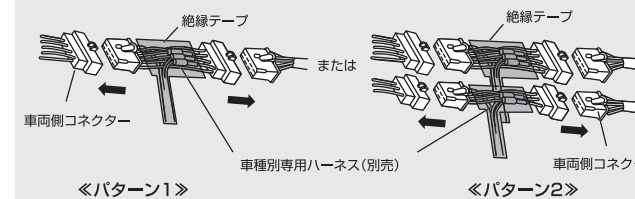
### NG取付例



■配線について  
 ダッシュボード内(コラムカバー内など)へ収納する際、各種ハーネスが車両金属部(コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板など)と接触してショートしないように注意してください。メインユニットのヒューズ切れ、メインユニット故障、車両ヒューズ切れなど本体の動作不良となります。必ず市販の絶縁テープを巻いて保護し、取付けを行なってください。

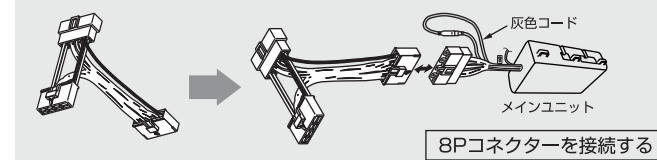
**5** 車両側のコネクタを外し、外したコネクタ間を車種別専用ハーネス(別売)で接続してください。その際、市販の絶縁テープを巻いて配線を保護してください。

・車種別専用ハーネス(別売)を接続しただけでは、エンジンは始動しません。もしエンジン始動した場合は、間違ったコネクタに接続していますので、別のコネクタを探してください。  
 ・専用ハーネスによっては車両側のコネクタを2ヶ所外し、接続する必要があります。(パターン2参照)

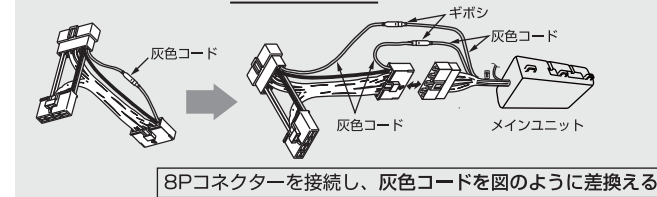


**6** **4** のアース端子の取付けを行ってから車種別専用ハーネスの8Pコネクタとメインユニットの8Pコネクタを接続します。車種別専用ハーネスにより接続方法が異なります。下記の①、②を参照し、正しく接続してください。

①車種別専用ハーネスに灰色コードがない場合



②車種別専用ハーネスに灰色コードがある場合



△注意  
 灰色コードがある車種別専用ハーネスを使用する場合、灰色コードの差換えを行わないと車両自体の動作不良(エアコン、オートクルーズ等の動作不良、ABSランプ点灯など)の原因となります。

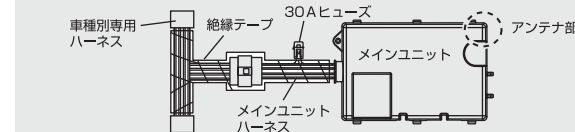
**7** **6** の8Pコネクタ接続が終わり、車両のバッテリー⊖(マイナス端子)を取付けるとメインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴ります。初期設定を行うまで「ピロリ…ピロリ…」とブザー音が鳴り続けます。初期設定および動作確認 **9** を行なってください。  
 ※ディスプレイモード設定時はブザー音は鳴りません。

メインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴らない場合、車種別専用ハーネスの適合する品番、または専用ハーネスの取付け位置を確認の上、アース端子の取付け位置の変更と、メインユニットの8Pコネクタを外して約30秒以上待ってから、再度8Pコネクタの接続を行ってください。

## 裏面、初期設定および動作確認へ

**9** メインユニットハーネスと車種別専用ハーネスの配線保護

・メインユニットハーネスと車種別専用ハーネスに必ず市販の絶縁テープを巻いて、保護をしてください。  
 ・専用ハーネスがコラムシフトやステアリング可動部などと接触してショートし、メインユニットのヒューズ(30A)切れやメインユニットの故障、車両ヒューズ切れなどの本体の動作不良になる恐れがあります。また、絶縁テープを巻いたハーネスをダッシュボード内(コラムカバー内など)に収納する際、振動でハーネスが擦れないよう確実に固定をし、各種ハーネスと車両金属部がショートしないよう気を付けて取めてください。



△注意  
 各種ハーネスと車両金属部の接触によるショートまたは車種別専用ハーネスの加工などによる本体動作不良や車両故障に関しては弊社では一切責任を負いません。

**10** メインユニットの取付け

△注意  
 ・メインユニットの取付固定を行う前に、初期設定および動作確認を行ってください。  
 ・エアコンやヒーター等の熱風または水滴を受ける場所・直射日光の当たる場所・不安定な場所・運転の妨げになる場所への取付けは避けてください。

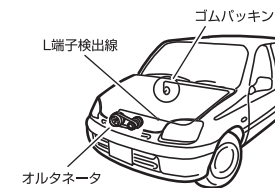
運転の妨げにならない場所に、付属のインシュロックまたは市販の両面テープでしっかりと固定してください。(ダッシュボード内側など)メインユニットの内蔵アンテナ(付属品イラスト参照)部を車両金属部分から5cm以上離して固定してください。通信距離が短くなったり、通信が不安定になることがあります。

本製品には、2種類(自動検出・L端子検出)のエンジン始動検出方法があります。ほとんどの場合、自動検出でエンジン始動を行えますが、一部車種でできない場合があります。セル時間の設定(別紙【取扱説明書】参照)をしているのにも関わらず、下記のような症状になる場合は、L端子配線を行ってください。

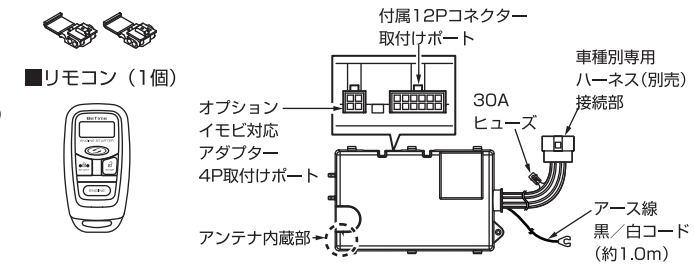
・エンジンがかかったり止まったりをくり返す。  
 ・寒い時はエンジンがかからないが、暖かい時はかかる。  
 ※ディーゼル車や寒冷地にてご使用される方はL端子検出を行うと、より確実なエンジン始動が可能です。  
 以下の手順でL端子配線を行ってください。

### ■配線、確認方法

- 1) エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通る場所にカッターナイフ等で穴を開けL端子検出線(白)を図の様に室内側から入れてください。
- 2) 車両のL端子線(オルタネータの所にあります)まで、本製品L端子検出線(白)を配線してください。



■エレクトロタップ(2個) ■メインユニット(1個)



下記の場合はフットブレーキ配線を行い、配線後フットブレーキを一度踏んでください。

エンジンスターター作動時またはターボタイマー作動時、シフトレバーをP(パーキング)またはN(ニュートラル)以外の位置へ動かした時にエンジンが止まらない車種や、一部の車種でシフトポジション検出が正常にできずP/N検出エラーが発生する場合があります。(シフトレバーがP(パーキング)の位置で、リモコンスタート時にメインユニットからブザー音が「ブーブーブー、ブーブーブー」と鳴った場合)※シフトチェンジの際に必ずフットブレーキを踏むので、誤発進防止のかわりとしても使用します。

△注意  
 ・日産の一部車両(Y33系のシーマ、セドリック、グロリアは、バードビューナビゲーション装着車に限る)はパーキングブレーキへ配線してください。  
 ・エアバッグ等の警告ランプが点灯する車種も配線が必要です。

### ■配線、確認方法

- 1) フットブレーキを放した状態で0V、踏んだ状態で12Vの配線にメインユニットのフットブレーキ検出線(黄)を付属のエレクトロタップで接続します。
- 2) メインユニットに12Pコネクタを差込んでください。
- 3) 接続後必ずフットブレーキを一度踏んでください。フットブレーキ検出線からのブレーキ認識が必要となります。(この時メインユニットからブザー音は鳴りません)
- 4) 裏面【初期設定および動作確認】の手順 **7** で配線の動作確認してください。

3) 車両のオルタネータにあるL端子線を探してください。

キーの位置	ON (セルまで回さないでONで止める)	ON (セルを回してエンジンをかける)
エンジンの状態	エンジン停止時	エンジン始動時
電圧	4V以下	8V以上

※電圧の確認はサーキットテスターで確認してください。  
 ※エンジン始動時8V以下の場合はBe-966 L端子検出アダプターが必要です。

- 4) 車両側のL端子線とL端子検出線(白)を付属のエレクトロタップで接続してください。
- 5) メインユニットに12Pコネクタを差込んでください。
- 6) 裏面【初期設定および動作確認】の手順 **9** メインユニットの音で配線の動作確認してください。



## 初期設定および動作確認

〈重要〉初期設定および動作確認を行わないと本製品は作動しません。車両バッテリーの交換や本製品の付替えなどで、車種別専用ハーネスを取外した場合にも「初期設定および動作確認」を行ってください。

**1** キーを ACC(アクセサリー) の位置まで回して止めてください。

Q:この時、ラジオ等アクセサリー電源が ONになりますか？

YES NO 動作確認対処方法 **A**へ

**2** キーを ONの位置まで回して止めてください。

Q:この時、メーターパネル等の電源が ONになり、メインユニットのブザー音が約10秒以内に「ピッピッ」と鳴りますか？

※セルを回さずにキーを ONで5秒以上停止した場合に、メインユニットから毎回ブザー音が「ピッピッ」と鳴りますが、本製品の仕様のため異常ではありません。

YES NO 動作確認対処方法 **A**へ

**3** **2** の操作後、キーを OFFにせずに10秒以内にセルを通常より長めに回し、エンジンを始動してください。

Q:この時、エンジンが始動し、約5秒後にメインユニットのブザー音が「ピーピッピッ」と鳴りますか？

なお、L端子検出線を接続している場合は、メインユニットのブザー音が「ピーピーピー」に変わります。

※セルを通常より長めに回し、エンジンを始動することにより、車両情報を認識します。上記操作を行い、メインユニットのブザー音が鳴らないとリモコンでエンジンが始動できません。ブザー音が鳴らない場合は、もう一度 **2** から動作確認操作を行ってください。

YES NO 動作確認対処方法 **A**へ

**4** キーを OFFの位置まで回して、抜いてください。

Q:この時、エンジンが停止しますか？

YES NO 動作確認対処方法 **B**へ

**5** リモコンの【ENGINE】スイッチを押し、液晶表示部に『SET』が表示されている間に【START】スイッチを押しってください。

Q:この時、メインユニットのブザー音が「ピーッ」と1秒間鳴り、エンジンが始動しますか？  
また、アイドリング開始後、メインユニットのブザー音が「ピッピッピッ…」と鳴りますか？

YES NO 動作確認対処方法 **C**へ

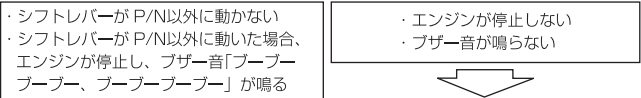
フットブレーキ配線をしていない場合 **6** へ

フットブレーキ配線をしている場合 **7** へ

- ・アイドリング中でのメインユニットからのブザー音「ピッピッピッ…」を消音する事はできません。
- ・エンジン始動時、メインユニットのブザー音が「ピッピ」と鳴る場合は、ディスプレイモードに設定されていますので、設定を無効にしてください。(別紙【取扱説明書】参照)
- ・エンジン始動してもエアコンが効かない場合やオートクルーズ等のランプが点灯する場合は車種別専用ハーネス灰色の配線の差換えを行なってください。(表面【取付け】**6**参照)

**6** A/Tシフトストップ機能の確認

エンジン始動中にシフトレバーをP(パーキング)またはN(ニュートラル)以外の位置にしてください。(一部車両でシフトレバーがロックされて動かない場合があります。そういった車両の場合、以降の動作確認は必要ありません)



すべての動作は正常です

**7** フットブレーキを踏んでください。

Q:この時、エンジンが停止し、メインユニットのブザー音が「ブー、ブー」(フットブレーキ検出エラー音)と鳴りますか？

YES NO 動作確認対処方法 **E**へ

すべての動作は正常です

## 動作確認対処方法

- A** 1.車種別専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？(表面【取付】参照)  
2.車種別専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？(表面【取付】参照)  
3.お車に適した車種別専用ハーネスを使用していますか？  
(弊社ホームページ <http://www.e-comtec.co.jp> 車種別専用ハーネス適合表にて確認してください。)  
4.アース端子は確実にボディアースへ接続されていますか？  
→アース端子を塗装されていないボディ、または塗装部を削ったボディへしっかり取付けしてください。(表面【取付】参照)  
5.エンジンを始動する際、セルを回す時間が短くありませんか？  
→セルを通常より長めに回し、エンジンを始動することで車両情報を認識します。【初期設定及び動作確認】参照

- B** ターボタイマーが作動していませんか？  
→ターボタイマーの設定を「設定 OFF」にしてください。(別紙【取扱説明書】参照)

- C** 1.動作不良エラーブザー音が鳴る時  
→動作不良エラーブザー音を確認し、エラーを解除してください。  
【動作不良エラー確認表】参照  
2.動作不良エラーブザー音が鳴らない時  
→セルが短くエンジンが始動しない場合は、セルストップ時間の調整をしてください。(別紙【取扱説明書】参照)  
→セルが回らない場合、スマートキー装着車、インテリジェントキー装着車、イモビライザー装着車の可能性があります。  
別売のオプションで対応してください。  
→ID コードの再登録を行ってください。(別紙【取扱説明書】参照)

- D** フットブレーキ検出線を接続し、フットブレーキを一度踏んでください。(表面【取付】参照)

- E** フットブレーキ検出線の接続を確認してください。(表面【取付】参照)

## 動作不良エラー確認表

メインユニットからブザー音を鳴らすことで、製品の動作状態やエラー内容を確認することができます。

No.	ブザー音	名称	内容/対処方法
1	ブー、ブー	フットブレーキ検出エラー	本製品作動中にフットブレーキを踏んでエンジンが停止した時のエラー音 フットブレーキを踏んでいないのに検出する場合 <b>対策</b> フットブレーキ検出線の接続を確認してください。(表面【取付】参照)
2	ブーブーブー、ブーブーブー	P/N 検出エラー	本製品作動中にシフトレバーをP(パーキング)またはN(ニュートラル)以外に動かしてエンジンが停止した時のエラー音 リモコンでエンジン始動操作を行ったがエンジンが始動しない場合 <b>対策</b> ①フットブレーキ検出線を接続し、フットブレーキを一度踏んでください。(表面【取付】参照) ②イモビライザー装着車の場合、イモビ対応アダプターの取付・接続方法の確認をしてください(イモビ対応アダプターの取扱説明書参照)
3	ブブブブブ、ブブブブブ	P ポジション検出エラー	P ポジション配線した場合、本製品作動中にシフトレバーをP(パーキング)以外に動かしてエンジンが停止した時のエラー音 シフトレバーを動かしてないのに検出する場合 <b>対策</b> P ポジション線の接続を確認してください。(オプション Be-963 取扱説明書参照)
4	ブブブブブブブ、ブブブブブブブ	初期設定車両情報未登録エラー	<b>対策</b> 本製品の取付けを行った後、【初期設定および動作確認】の手順に従い、セルを通常より長めに回し、エンジンを始動させて車両情報の登録を行なってください。 車両情報の登録を行わないとリモコンでエンジンが始動できません。
5	ブ、ブ	ACC 検出エラー	本製品作動中にキーを ON の位置まで回さずに ACC で止めてエンジンが停止した時のエラー音
6	ブーブ、ブーブ	L 端子配線違いエラー	L 端子配線を L 端子以外の線に間違えて接続した時のエラー音 <b>対策</b> L 端子検出線の接続を確認してください。(表面【取付】参照)
7	ブーブブブブ、ブーブブブブ	リモコン ID 未登録	<b>対策</b> リモコンの ID コードを再登録または追加登録を行なってください。(別紙【取扱説明書】参照)
8	ブブブブブブー、ブブブブブブー	エンジン始動検出エラー	エンジンスターターによるエンジン始動が 2 回連続で失敗した時のエラー音 <b>対策</b> ①エンジンが始動するまでセルが回らない場合 セルストップ方式がオートの設定の場合はセル延長時間を現状の設定より延長、マニュアルの場合はセルストップ時間を現状の設定より長めに設定してください。(別紙【取扱説明書】参照) ②エンジン始動検出が自動検出できない場合 L 端子検出線を接続してください。(表面【取付】参照) ③イモビライザー装着車の場合 取付車両に適合する、オプションイモビ対応アダプターを取付けてください。 ④インテリジェントキー装着車の場合 インテリジェントキー対応ハーネスの適合車種であればオプションインテリジェントキー対応ハーネスを取付けてください。
9	ブーブブブブブブ、ブーブブブブブブ	カーテシ検出エラー	カーテシ配線した場合、リモコンでエンジン始動中ドアを開いてエンジンが停止したときのエラー音 ドアを開けていないのにエンジンが停止、またはエンジンが始動しない場合 <b>対策</b> オプションカーテシ線の接続を確認してください。 車両によりルームランプ点灯中はエンジンを始動することができません。 ルームランプが消灯してからエンジンを始動してください。
10	ブブブブブ、ブブブブブ	バッテリー電圧低下エンジン始動エラー	車両バッテリー電圧が低下している可能性があるため、エンジン始動ができない時のエラー音 <b>対策</b> 車両バッテリーの充電または交換をおすすめします。

※○は約 0.2 秒を示します。○は約 1 秒を示します。○は約 2 秒を示します。  
※再度エラーブザー音を確認したい場合は、リモコンの【ENGINE】スイッチを押した後、液晶表示部に【SET】と表示されている間【STOP】スイッチを押してください。

## オプションの配線箇所

取付可能オプション一覧、車種別の対応は弊社ホームページのエンジンスターター車種別専用ハーネス適合表&車種別接続図をご確認ください。

NO	名称	機能説明	対応オプション番
1	フットブレーキ	フットブレーキ配線をする場合にフットブレーキ検出線(黄)を使用します。	—
2	L端子	L端子配線をする場合にL端子検出線(白)を使用します。	—
3	オプション1 (イモビ/セキュリティアラーム対応アダプター)	イモビライザー装着車やセキュリティアラーム装着車へ本製品を接続するために使用します。	※適合表をご確認ください
4	オプション2 (オートスライドドアユニット)	本製品のリモコンでオートスライドドア(電動式)の開閉ができます。	Be-975
5	カーテシ/P ポジション(オプション)※	【カーテシ線として利用する場合】リモコンでエンジン始動中、ドアを開けるとエンジン約15秒後停止、または即停止します。ターボタイマー作動中はドアを開けてもエンジンは停止しません。またドアを開けるとオートロック機能を解除します。 【Pポジション線として利用する場合】リモコンでエンジン始動中、シフトがP(パーキング)以外になった場合にエンジンを停止します。	Be-963
6	オートライト(オプション)※	車両のオートライト機能使用時、エンジンストップまたはアイドリング終了後にヘッドライトが消灯しない車両に接続します。	Be-964
7	未使用	—	—
8	ドアアンロック(オプション)	車両へドアロック/ドアアンロック配線を行うことで、本製品リモコンでドアロック/ドアアンロック作動させることができます。	Be-970
9	ドアロック(オプション)		
10	ドアロック(オプション)		
11	ハザード(オプション)	本製品のリモコンでドアロック/ドアアンロックを行なった際に車両ハザードを点滅させます。	Be-968
12	未使用	—	—

※Be-970 ワイヤレスドアロック配線キットと同梱のカーテシ線でも代用可能です。その際の接続方法に関しては、弊社ホームページより対応オプション品番の取扱説明書をご確認ください。

## ドアロック/ドアアンロック配線の接続(オプション)

車両へドアロック/ドアアンロック配線を行うことで、本製品リモコンでドアロック/ドアアンロック作動させることができます。

※オプション Be-970ワイヤレスドアロック配線キットが必要になります。また Be-965ワイヤレスドアロックアダプターも併せて必要になる車種がありますので車種別ハーネス適合表で確認してください。

### △注意

- ・一部車両でエンジンスターターまたはターボタイマーのアイドリング中に、純正のキーレスエントリーが作動しないものがあります。
- ・シートベルト警告灯用のコネクタ等、車両側コネクタ類は絶対に外さないでください。本製品作動中にドアロック/ドアアンロックが正常に作動しません。

下記に示す車両には使用できません。

- ・弊社車種別専用ハーネス適合表にてドアロック/ドアアンロック作動可能と明記のない車種。
- ・トヨタ車以外で、純正キーレスリモコンがついていない車種。
- ・ディーラーオプションのキーレスリモコン装備車。
- ・一部多重通信車。
- ・集中ドアロック制御できない車種。
- ・弊社製以外のセキュリティシステム装着車。(ドアロック運動タイプ)

### ■接続方法について

自動車メーカーや車種によってワイヤレスドアロック接続方法が異なります。

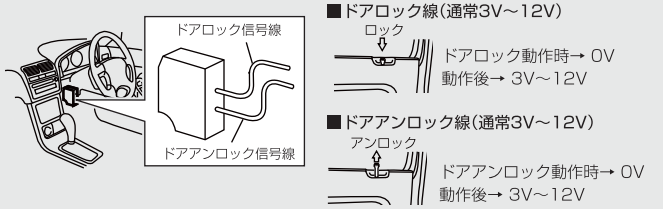
A タイプ(マイナスコントロール)…オプション Be-970ワイヤレスドアロック配線キットだけで作動するタイプ

B タイプ(プラスコントロール)…オプション Be-970ワイヤレスドアロック配線キットおよびオプション Be-965ワイヤレスドアロックアダプターの両方が必要なタイプ詳しくは、弊社ホームページのエンジンスターター車種別専用ハーネス適合表&車種別接続図をご確認ください。

## 配線方法

**【A タイプ】オプション Be-970 だけで作動するタイプ** ※【Bタイプ】はオプション Be-965 ワイヤレスドアロックアダプター取扱説明書をご覧ください。

- 1** 車両側ドアロック/ドアアンロック線を探してください。ドアロックレシーバー、ドアロックリレー、ドア内へ配線されているハーネス、ドア内の集中ロックまわりから探し出します。

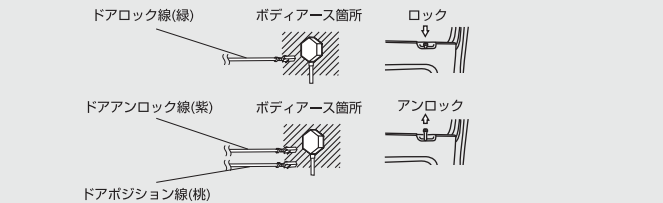


場所および電圧は車種によって異なり、一部の車種ではパルス信号のため、12V 出力しないものがあります。

詳しくは、弊社ホームページのエンジンスターター車種別ハーネス適合表&車種別接続図をご確認ください。

- 2** ドアロック/ドアアンロック線(緑・紫)を車両側ドアロック線/ドアアンロック線にそれぞれエレクトロタップで接続します。

- 3** Be-970 ワイヤレスドアロック配線キットの端子部をボディアースに接触させ、ドアロック/ドアアンロックが作動するか確認します。動作する場合は **7** へ



※ドアポジション線を接続した場合はドアアンロック確認時、ドアアンロックとドアポジション線を同時にボディアースへ接触させます。



12Pコネクタ (配線側)	12Pコネクタ (被接続側)
12	11
10	9
8	7
6	5
4	3
2	1

※Be-970 ワイヤレスドアロック配線キットと同梱のカーテシ線でも代用可能です。その際の接続方法に関しては、弊社ホームページより対応オプション品番の取扱説明書をご確認ください。

## ドアロック/ドアアンロック配線の接続(オプション)

車両へドアロック/ドアアンロック配線を行うことで、本製品リモコンでドアロック/ドアアンロック作動させることができます。

※オプション Be-970ワイヤレスドアロック配線キットが必要になります。また Be-965ワイヤレスドアロックアダプターも併せて必要になる車種がありますので車種別ハーネス適合表で確認してください。

### △注意

- ・一部車両でエンジンスターターまたはターボタイマーのアイドリング中に、純正のキーレスエントリーが作動しないものがあります。
- ・シートベルト警告灯用のコネクタ等、車両側コネクタ類は絶対に外さないでください。本製品作動中にドアロック/ドアアンロックが正常に作動しません。

下記に示す車両には使用できません。

- ・弊社車種別専用ハーネス適合表にてドアロック/ドアアンロック作動可能と明記のない車種。
- ・トヨタ車以外で、純正キーレスリモコンがついていない車種。
- ・ディーラーオプションのキーレスリモコン装備車。
- ・一部多重通信車。
- ・集中ドアロック制御できない車種。
- ・弊社製以外のセキュリティシステム装着車。(ドアロック運動タイプ)

### ■接続方法について

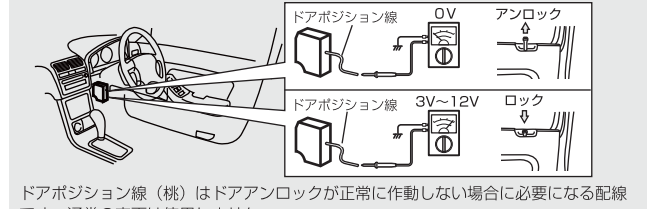
自動車メーカーや車種によってワイヤレスドアロック接続方法が異なります。

A タイプ(マイナスコントロール)…オプション Be-970ワイヤレスドアロック配線キットだけで作動するタイプ  
B タイプ(プラスコントロール)…オプション Be-970ワイヤレスドアロック配線キットおよびオプション Be-965ワイヤレスドアロックアダプターの両方が必要なタイプ詳しくは、弊社ホームページのエンジンスターター車種別専用ハーネス適合表&車種別接続図をご確認ください。

## 配線方法

**【A タイプ】オプション Be-970 だけで作動するタイプ** ※【Bタイプ】はオプション Be-965 ワイヤレスドアロックアダプター取扱説明書をご覧ください。

- 4** **3** でドアアンロックが正常に作動しない場合、ドアポジション線の接続が必要となる車両のため、ドアロックノブを操作してドアロック時に3V~12V、ドアアンロック時に0Vになる線を探します。



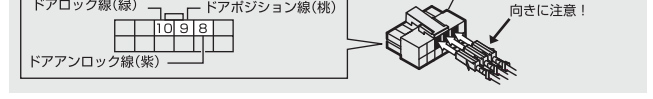
ドアポジション線(桃)はドアアンロックが正常に作動しない場合に必要になる配線です。通常の車両は使用しません。

- 5** **4** で探したドアポジション信号線にドアポジション線(桃)をエレクトロタップで接続します。

- 6** 再度 **3** に戻りボディアースに接触させ、ドアロック/ドアアンロックが作動するか確認します。

- 7** 12Pコネクターの差込み番号を確認後、以下のようにしっかり差込んでください。

NO.8→ドアアンロック線(紫)  
NO.9→ドアポジション線(桃)  
※ **4** のドアポジション線の接続が必要な車両のみ  
NO.10→ドアロック線(緑)  
※一度差込むと抜けにくくなりますのでご注意ください。



**8** メインユニットに12P コネクタを差込んでください。